

三重県経済の動向（2021年8月） No.527

【現在の景気】 厳しい状況ながら持ち直している（※5～7月の指標より（一部除く））

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、総じて厳しい水準にあるものの、持ち直している。生産は持ち直しており、雇用は持ち直しの動きがみられる。個人消費は前年の巣ごもり需要の一巡等により弱い動きとなっている。

<当月のポイント>

- ・生産指数（6月）は前月比・前年比ともに上昇。電子、輸送、汎用・生産用・業務用機械などが上昇。
- ・有効求人倍率（6月）は1.21倍で前月比上昇。
- ・乗用車新車販売（7月）は前年比10か月ぶり減少、百貨店・スーパー、ホームセンター、家電販売（6月）は減少続く。消費支出（6月）は4か月連続増加。

【当面の見通し】 緩やかな持ち直しが続く見通し

各種政策効果や海外経済の回復に加え、コロナワクチン接種の推進等により緩やかな持ち直し基調が続くものの、感染再拡大に伴う経済活動の制限や半導体不足の影響等に留意が必要。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	厳しい状況ながら 持ち直している	厳しい状況ながら 持ち直している	厳しい状況ながら 持ち直している	→	—
1. 景気動向指数 ／企業の景況感	改善／持ち直しの動 きがみられる	改善／持ち直しの動 きがみられる	改善／持ち直しの動 きがみられる	→	2
2. 生産	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	3
3. 輸出	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	3
4. 設備投資	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	4
5. 企業倒産	減少している	減少している	減少している	→	4
6. 雇用	弱いものの底堅い動 きとなっている	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	5
7. 賃金	弱い動きとなってい る	弱い動きとなってい る	弱い動きとなってい る	→	6
8. 個人消費	一部で持ち直している ものの、鈍化している	一部で持ち直している ものの、鈍化している	弱い動きとなってい る	↘	6
9. 住宅投資	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	7
10. 公共投資	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したものの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 景気動向指数

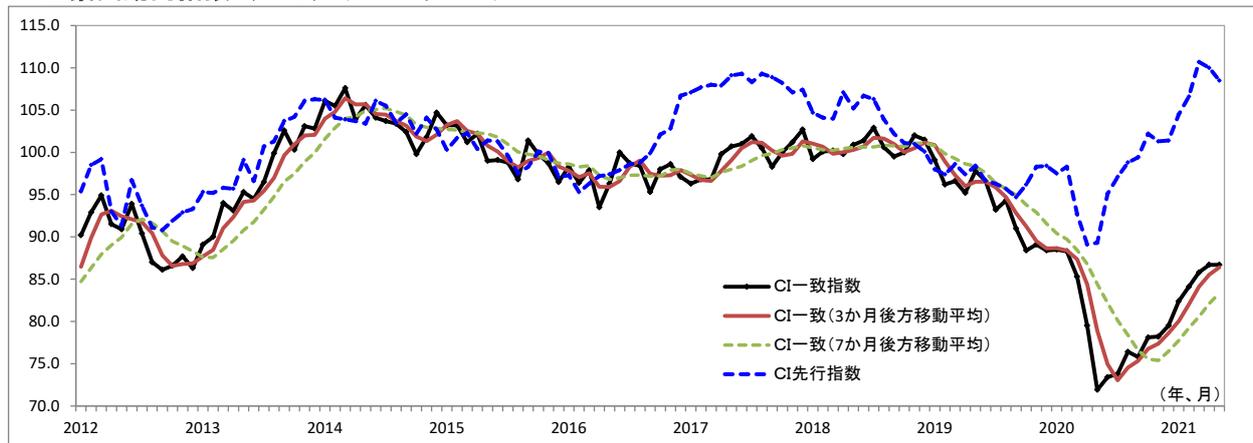
【現状】 <改善>

○5月の景気動向指数（CI）一致指数は、86.7で前月と同数値。3か月後方移動平均（+0.87ポイント）は10か月連続の上昇、7か月後方移動平均（+1.23ポイント）は6か月連続の上昇となり、「改善」を示している。

【見通し】

○5月の景気動向指数（CI）先行指数は、108.5で前月差△1.5ポイント。3か月後方移動平均（+0.63ポイント）は12か月連続の上昇、7か月後方移動平均（+0.90ポイント）は10か月連続の上昇となった。

■景気動向指数（CI）（2015年=100）



※上記の「CIを用いた基調判断」は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。

※「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指数（CI）」

(2) 県内企業の景況感

【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

○当社景況調査（半期）では、21年度上期の業況判断BSIは+2.0と、プラスに転じた。

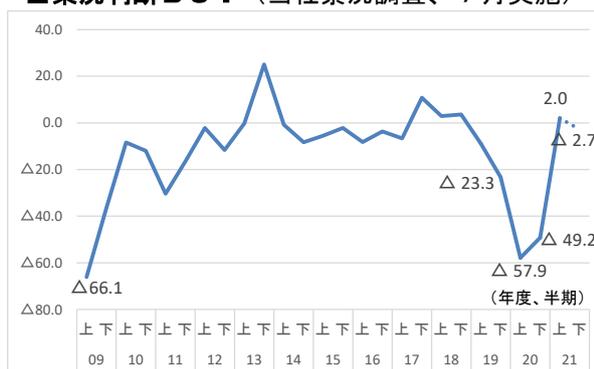
○法人企業景気予測調査（四半期）では、21年4-6月期の景況判断BSIは△19.7ポイントの「下降」超。

【見通し】

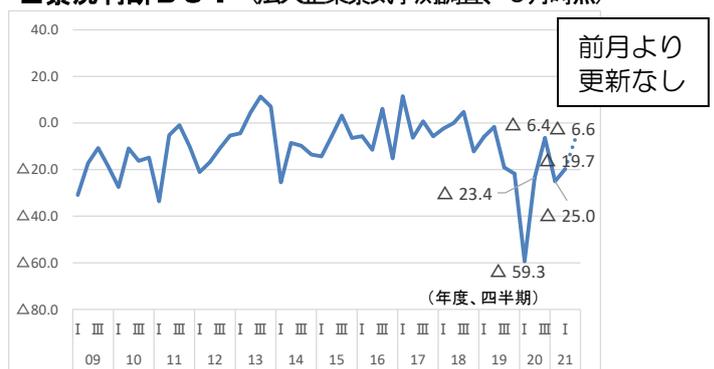
○当社景況調査の21年度下期（見通し）の業況判断BSIは△2.7で、若干のマイナス見通し。

○法人企業景気予測調査の21年7-9月期（見通し）の景況判断BSIは△6.6ポイントで「下降」超幅が縮小する見通し。

■業況判断BSI（当社景況調査、7月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、5月時点）



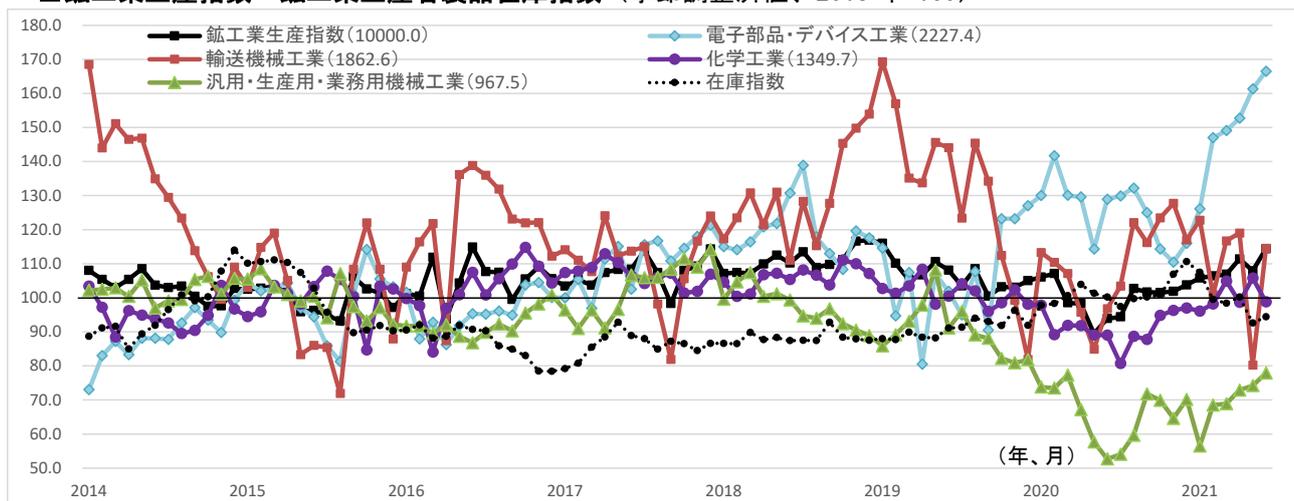
資料：当社「景況調査」（21年7月、444社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（21年5月、122社）

2. 生産

【現状】 <持ち直している>

- 6月の鉱工業生産指数（季調済）は114.4で、前月比+6.0%と2か月ぶりの上昇、原数値は116.3で前年比+21.8%、4か月連続の上昇となった。
- 生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは前月比7か月連続の上昇、前年比5か月連続の上昇で高水準にある。輸送機械は前月比・前年比とも2か月ぶりの上昇、汎用・生産用・業務用機械は前月比5か月連続の上昇、前年比3か月連続の上昇。化学は前月比では2か月ぶりの低下となったが、前年比は5か月連続の上昇となった。

■ 鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015年=100）



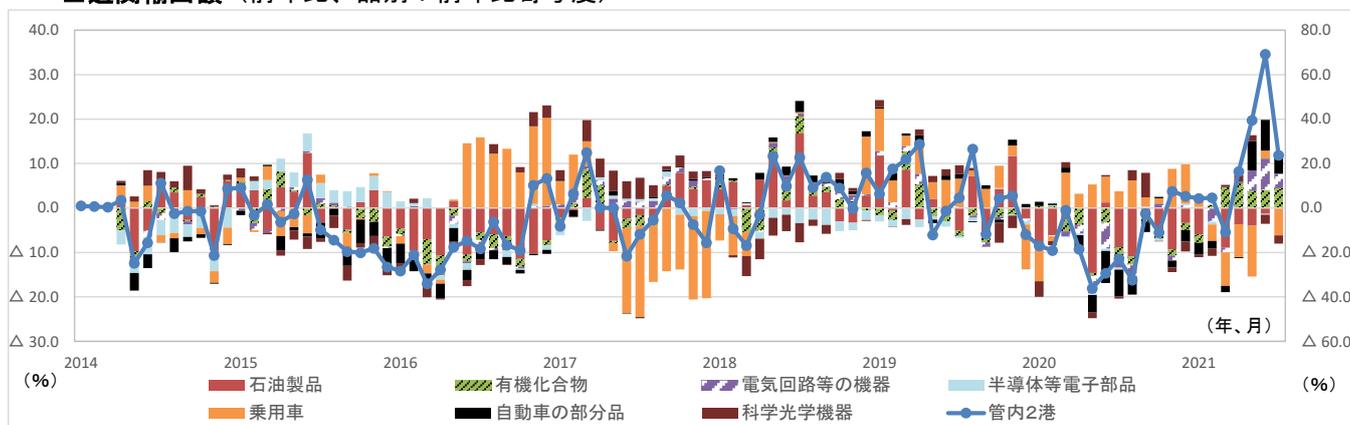
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】 <持ち直している>

- 7月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比+23.7%と4か月連続の増加となった。このうち主要港である四日市港は前年比+24.7%となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、乗用車や科学光学機器などが減少したものの、有機化合物やプラスチック製品などの化学製品、一般機械、電気回路等の機器、自動車の部分品などが増加に寄与した。

■ 通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



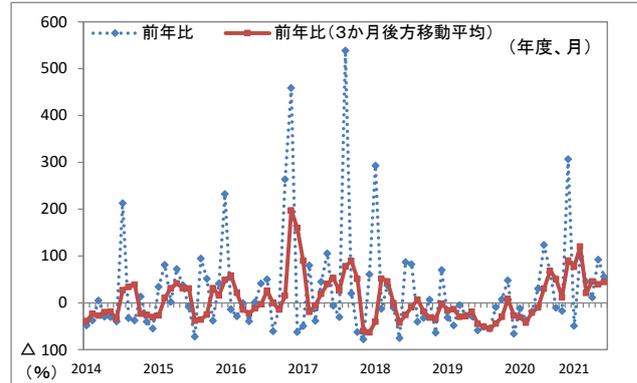
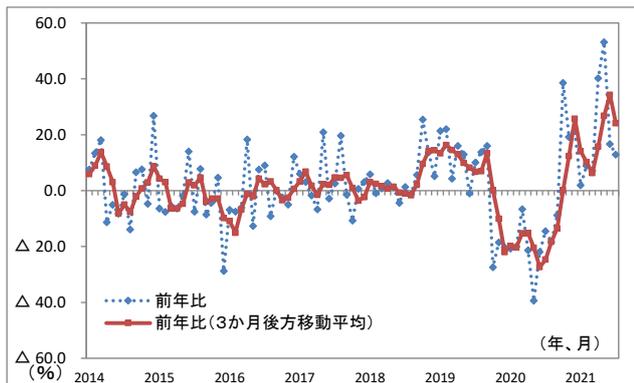
※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

【現状】<持ち直している>

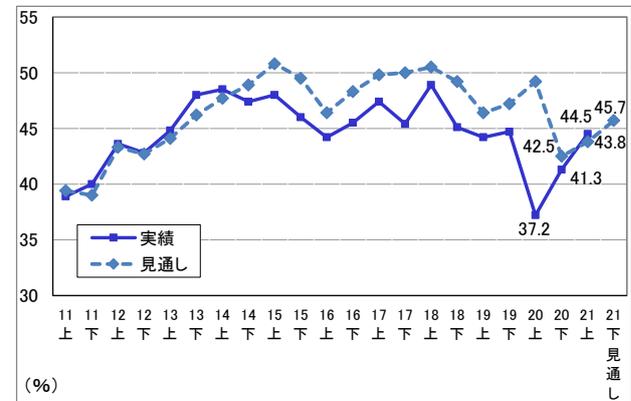
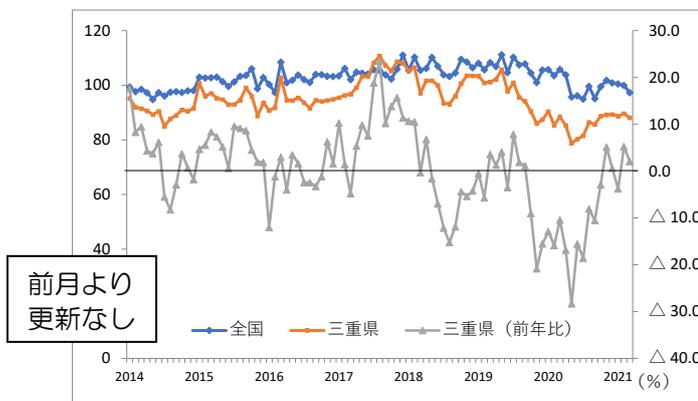
- 7月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比+12.9%となり、10か月連続の増加となった。普通貨物（+14.3%）は3か月連続の増加、小型貨物（+31.5%）、軽貨物（+6.1%）は10か月連続の増加となった。
- 6月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比+56.0%と5か月連続の増加となった。
- 3月の地域別民間企業設備投資総合指数は、2か月連続の上昇となった。
- 当社景況調査（7月実施）では、21年度上期に設備投資を実施した企業割合は44.5%となり、20年度下期（41.3%）及び見通し（43.8%）を上回った。21年度下期は45.7%とわずかながら上昇する見通し。

■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比） ■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値） ■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（2021年7月調査）

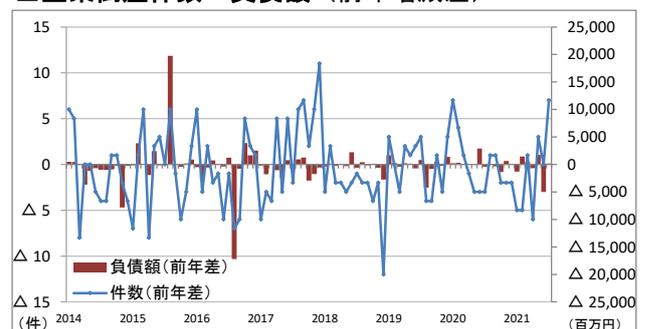
5. 企業倒産

【現状】<減少している>

- 7月の企業倒産件数は10件（前年差+7件）で、21年1月からの累計では7か月連続の減少となった。負債額は7億5百万円（前年差+1億800百万円）で2か月ぶりの増加、累計では2か月連続の減少となった。

※負債額1,000万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

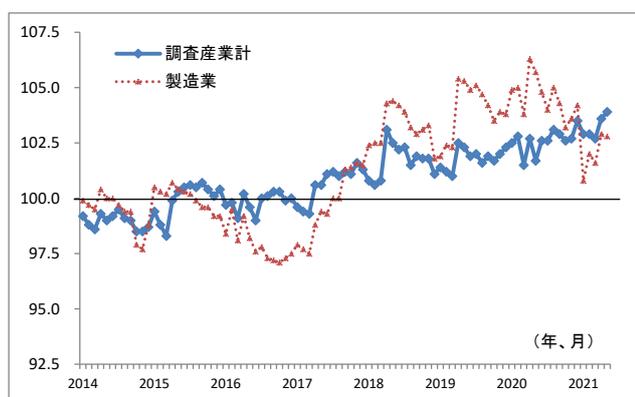


6. 雇用

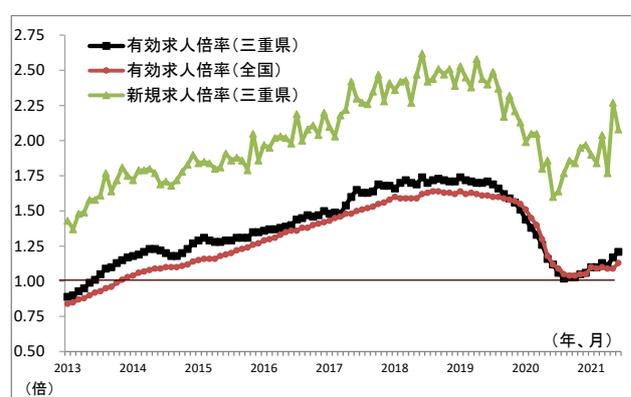
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 5月の常用雇用指数は103.9で、前年比+2.2%となり、12か月連続の上昇となった。製造業は102.8で前年比△2.7%となり、5か月連続の低下となった。
- 6月の有効求人倍率（季節調整済）は1.21倍で、前月比+0.04ポイントとなった。有効求人数（原数値）は前年比+11.5%で2か月連続の上昇、有効求職者数（原数値）は+3.2%となった。
- 6月の正社員有効求人倍率（原数値）は0.88倍となり、2か月連続で前年を上回った。
- 6月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、サービス業（他に分類されないもの）は前年比5か月連続の増加、製造業と宿泊業、飲食サービス業は4か月連続の増加、建設業は7か月連続の増加、卸売業、小売業は3か月連続の増加、運輸業、郵便業は2か月連続の増加となった。一方、医療、福祉は減少が続いた。

■常用雇用指数（2015年=100）



■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）

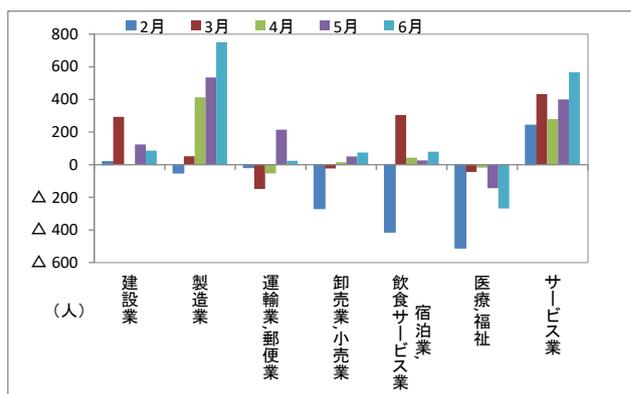


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員+パートタイム労働者）を指数化したもの
 ※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。
 資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■有効求人数・有効求職者数（原数値、前年比）



■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



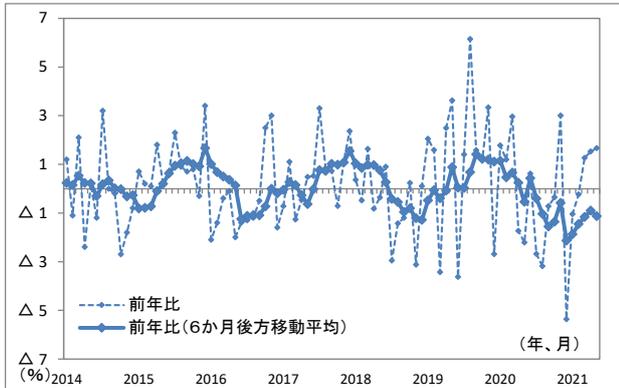
※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。
 ※サービス業は他に分類されないもの
 資料：三重労働局「一般職業紹介状況」

7. 賃金

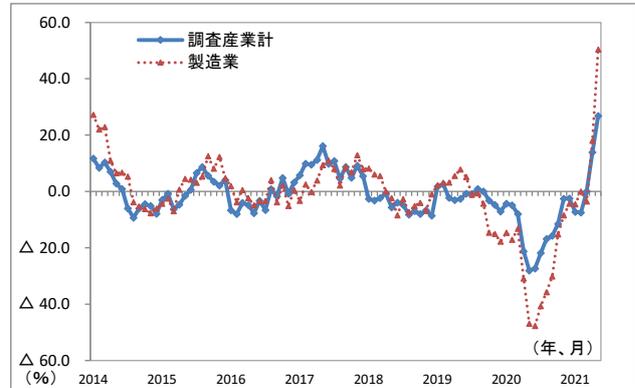
【現状】 <弱い動きとなっている>

- 5月の名目賃金指数（現金給与総額）は、調査産業計が前年比+1.7%となり、3か月連続の上昇となった。6か月後方移動平均（△1.1%）では11か月連続の低下となった。
- 5月の所定外労働時間指数は、調査産業計が前年比+26.8%で2か月連続の上昇、製造業は前年比+50.4%で、2か月連続の上昇となった。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■所定外労働時間指数（前年比）



※事業所規模5人以上、2015年=100

※現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。

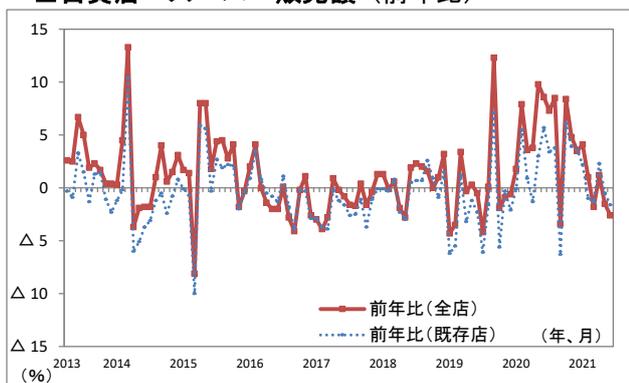
資料：三重県「毎月勤労統計調査」

8. 個人消費

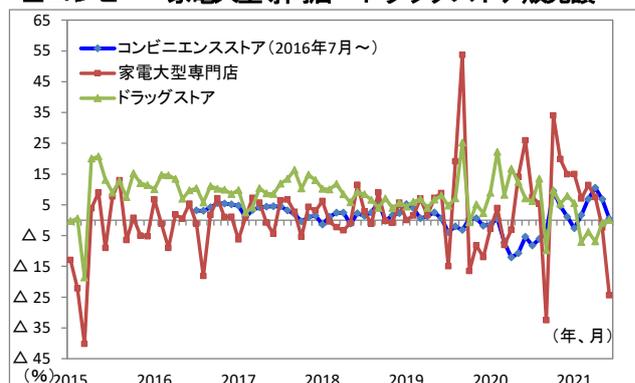
【現状】 <弱い動きとなっている>

- 6月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比△2.6%）、既存店（△1.6%）ともに2か月連続の減少となった。
- 6月のコンビニエンスストア販売額（+0.5%）は前年比5か月連続の増加、ドラッグストア販売額（+0.1%）は5か月ぶりの増加となったが、家電大型専門店販売額（△24.4%）は2か月連続の減少、ホームセンター販売額（△12.8%）は5か月連続の減少となった。
- 7月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（△2.8%）は、10か月ぶりの減少。普通（+29.0%）は10か月連続の増加となったが、小型（△21.7%）は3か月連続の減少、軽（△12.9%）は10か月ぶりの減少となった。
- 6月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（+38.0%）は4か月連続の増加となった。可処分所得（△17.7%）は10か月連続の減少となった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）



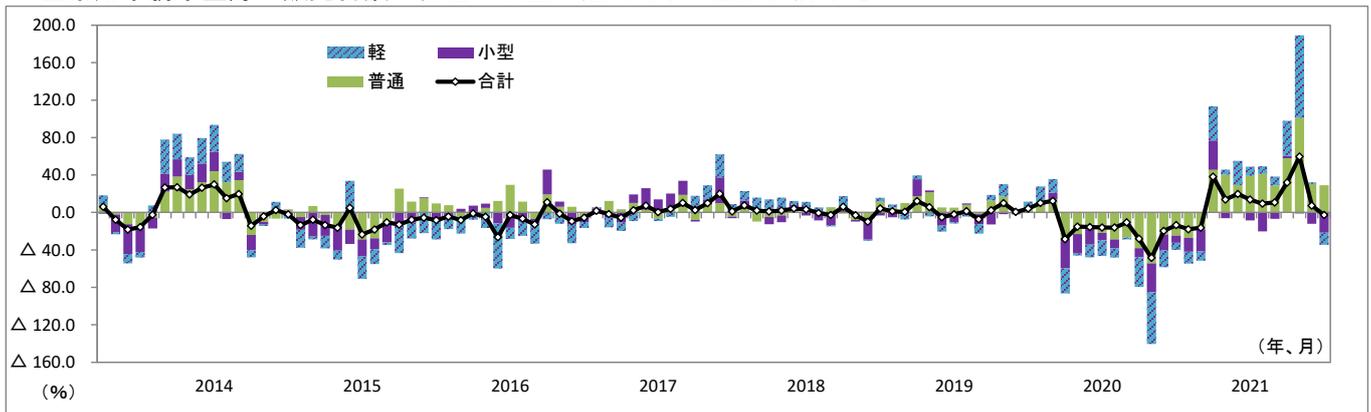
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。

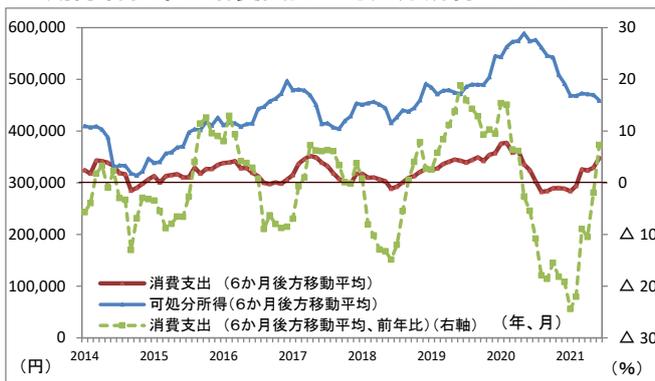
資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

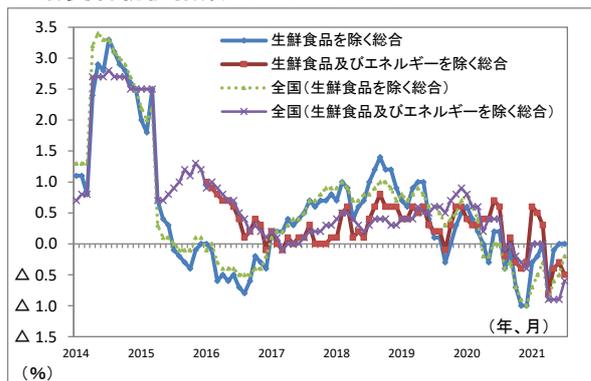


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。

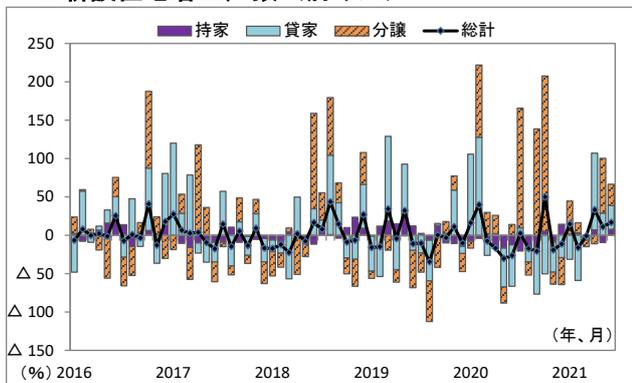
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

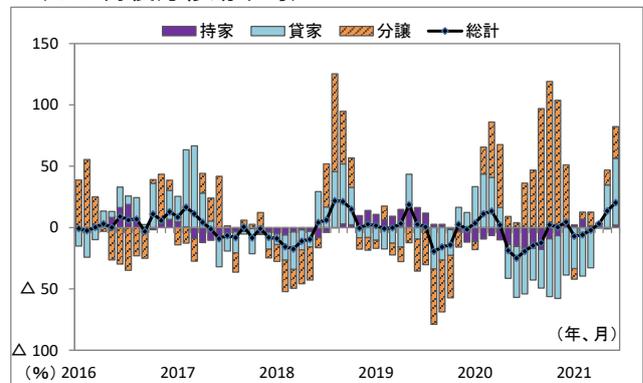
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○6月の新設住宅着工戸数は、前年比+16.7%で3か月連続の増加、3か月後方移動平均（+20.4%）では3か月連続の増加となった。持家（+7.9%）は2か月ぶりの増加、貸家（+30.7%）は3か月連続の増加、分譲（+27.8%）は2か月連続の増加となった。床面積（+16.2%）は3か月連続の増加となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

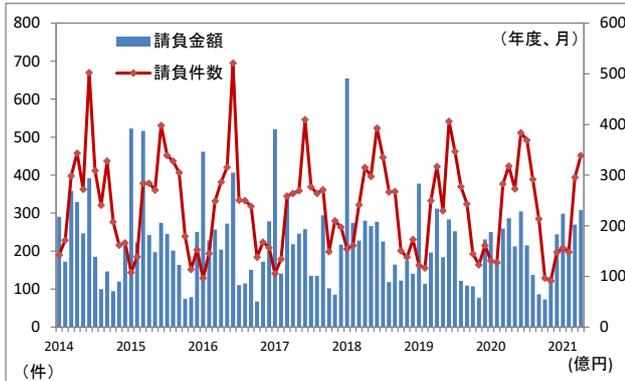
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

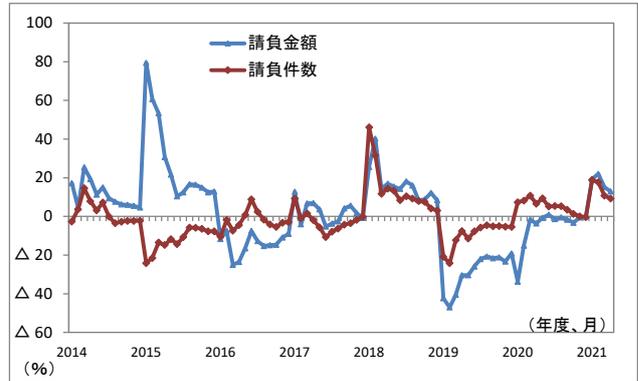
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 7月の公共工事請負件数は前年比+6.6%、請負金額は+7.4%の増加となった。請負金額は年度累計で4か月連続の増加となった。
- 7月の請負金額増加の主な要因は、近畿地方整備局（国）において「服部川東高倉地区高水護岸」及び「服部川印代地区土質改良」、県土整備部（県）において「城南第一地区海岸 海岸高潮対策」の大型工事があったほか、農林水産部（県）において取扱件数が増加した影響等による。

■ 公共工事請負件数・請負金額



■ 公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）
 ※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他
 資料：東日本建設業保証㈱

<トピックス>

- ◆ 当社が7月に県内事業者向けに実施した「景況調査」結果（回答数444件）によると、2021年度上期（実績見込み）の業況判断BSI（上昇とみる企業割合から下降とみる企業割合を引いて指数化したもの）は+2.0となり、20年度下期（△49.2）及び見通し（△22.6）を大きく上回った。人手不足感は、製造業・非製造業とも強まり、21年4月以降の賃上げ率は低水準ながらも上昇した。
- ◆ ホンダは、7月28日、鈴鹿製作所の稼働を8月に7日間停止すると明らかにした。世界的な半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大による部品調達の停滞などが一部影響したとみられる。減産規模は明らかにしていない。鈴鹿製作所では小型車「フィット」や軽自動車「Nシリーズ」などを生産しており、2021年は2月と5月にそれぞれ5日間稼働を停止している。
- ◆ 厚生労働省は、8月13日、全都道府県で地域別最低賃金の答申がなされ、28円～30円、32円の引上げ（引上げ額が28円は40都道府県、29円は4県、30円は2県、32円は1県）、改定後の全国加重平均額は930円（昨年度比+28円）になると発表。全国加重平均額28円の引上げは、昭和53年度に目安制度が始まって以降で最高額。三重県の最低賃金は、10月1日から昨年度比28円引き上げの902円となる。
- ◆ 三重県は、8月21日、9月～10月に開催予定であった「三重とこわか国体・三重とこわか大会」を中止する方向で、日本スポーツ協会、文部科学省等に協議を申し入れると発表。新型コロナウイルスの感染状況が全国的に悪化し、三重県も緊急事態宣言の発令を要請することとなったため。また、鈴鹿サーキットを運営するモビリティランドは、同18日に、10月に開催予定であった「2021 F1日本GP」について、新型コロナ感染拡大による中止を発表。中止は2年連続。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2015年=100)		景気動向指数C I (一致) (2015年=100)		業況判断BSI (年度半期)		業況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2015年=100)		鉱工業在庫指数 (2015年=100)		
	前月差		前月差		製造業	非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比	
2018年	—	—	—	—	—	—	—	111.1	3.5	88.1	2.6	
2019年	—	—	—	—	—	—	—	106.6	△ 4.1	90.9	3.2	
2020年	—	—	—	—	—	—	—	100.0	△ 6.2	101.4	11.6	
19年10月	96.2	1.5	88.4	△ 2.6	△ 23.3	△ 26.0	△ 18.3	△ 19.0	103.2	2.7	91.8	△ 1.3
11月	98.3	2.1	89.1	0.7					103.1	△ 0.1	96.3	4.9
12月	98.4	0.1	88.4	△ 0.7					105.0	1.8	91.9	△ 4.6
20年1月	97.5	△ 0.9	88.5	0.1	△ 21.8	△ 59.3	△ 23.4	△ 19.7	106.1	1.0	97.8	6.4
2月	98.3	0.8	88.3	△ 0.2					107.1	0.9	98.3	0.5
3月	92.7	△ 5.6	85.3	△ 3.0					98.5	△ 8.0	100.6	2.3
4月	89.1	△ 3.6	79.5	△ 5.8	△ 57.9	△ 63.2	△ 50.8	△ 23.4	98.3	△ 0.2	103.9	3.3
5月	89.3	0.2	71.9	△ 7.6					89.5	△ 9.0	101.3	△ 2.5
6月	95.1	5.8	73.4	1.5					93.9	4.9	100.2	△ 1.1
7月	97.1	2.0	73.8	0.4	△ 49.2	△ 50.0	△ 45.1	△ 6.4	94.4	0.5	97.4	△ 2.8
8月	98.8	1.7	76.4	2.6					102.7	8.8	99.7	2.4
9月	99.4	0.6	75.8	△ 0.6					101.7	△ 1.0	100.2	0.5
10月	102.2	2.8	78.1	2.3	△ 25.0	△ 19.7	△ 19.7	△ 19.7	101.5	△ 0.2	100.9	0.7
11月	101.3	△ 0.9	78.2	0.1					101.9	0.4	106.9	5.9
12月	101.4	0.1	79.5	1.3					103.8	1.9	110.6	3.5
21年1月	104.5	3.1	82.4	2.9	2.0	10.3	△ 2.4	△ 19.7	105.8	1.9	107.5	△ 2.8
2月	106.6	2.1	84.1	1.7					106.4	0.6	99.5	△ 7.4
3月	110.7	4.1	85.8	1.7					106.9	0.5	98.4	△ 1.1
4月	110.0	△ 0.7	86.7	0.9	—	—	—	—	111.4	4.2	100.2	1.8
5月	108.5	△ 1.5	86.7	0.0					107.9	△ 3.1	92.6	△ 7.6
6月	—	—	—	—					114.4	6.0	94.4	1.9
7月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料出所 三重県戦略企画部統計課 株式会社百五総合研究所 津財務事務所 三重県戦略企画部統計課

	輸出 (億円)		輸入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比	*3	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		前年比	前年比	件数	負債額
	(台)	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比	(m ²)	(件)	(百万円)	
2018年	8,589	6.8	17,938	25.8	5,568	△ 1.2	8,638	8.1	924,953	△ 27.9	67	13,582
2019年	9,077	5.7	16,577	△ 7.6	6,061	8.9	8,594	△ 0.5	622,024	△ 32.8	68	12,137
2020年	7,723	△ 14.9	11,473	△ 30.8	5,162	△ 14.8	8,107	△ 5.7	773,702	24.4	66	14,125
19年10月	756	4.3	1,308	△ 11.3	347	△ 20.4	551	△ 31.2	50,672	△ 51.1	9	1,838
11月	705	5.6	1,347	△ 22.3	394	△ 16.3	747	△ 19.6	56,614	△ 54.2	6	415
12月	723	△ 12.0	1,532	△ 2.8	350	△ 30.1	543	△ 12.3	51,674	△ 9.2	8	1,755
20年1月	651	△ 17.0	1,398	△ 6.4	345	△ 29.7	658	△ 15.0	52,312	7.7	11	1,958
2月	623	△ 19.1	1,275	△ 10.3	451	△ 28.8	691	△ 13.2	36,985	48.3	9	869
3月	827	△ 1.0	1,297	△ 3.9	648	△ 8.6	857	△ 5.1	31,489	△ 65.8	4	241
4月	650	△ 18.5	945	△ 33.7	376	△ 14.7	477	△ 25.8	57,081	△ 11.7	7	835
5月	437	△ 36.1	632	△ 51.6	278	△ 34.9	407	△ 42.1	26,766	△ 37.8	3	442
6月	475	△ 29.4	688	△ 51.2	390	△ 24.6	627	△ 20.2	49,963	△ 18.5	4	5,294
7月	593	△ 22.8	773	△ 42.6	384	△ 32.0	710	△ 0.6	56,481	30.5	3	525
8月	604	△ 32.4	866	△ 33.8	368	△ 32.0	560	△ 6.0	72,265	123.7	4	490
9月	671	△ 2.5	936	△ 29.7	554	△ 14.2	800	△ 4.5	87,698	65.6	4	128
10月	673	△ 11.0	907	△ 30.7	454	30.8	791	43.6	45,323	△ 10.6	7	471
11月	758	7.5	781	△ 42.0	479	21.6	881	17.9	47,117	△ 16.8	4	1,040
12月	762	5.4	976	△ 36.3	435	24.3	648	19.3	210,222	306.8	6	1,832
21年1月	678	4.3	1,016	△ 27.4	341	△ 1.2	681	3.5	26,620	△ 49.1	6	665
2月	652	4.6	1,275	△ 0.0	484	7.3	760	10.0	73,670	99.2	4	2,306
3月	738	△ 10.8	1,261	△ 2.7	664	2.5	949	10.7	45,805	45.5	5	688
4月	757	16.5	1,280	35.5	445	18.4	751	57.4	63,922	12.0	1	170
5月	609	39.5	1,106	75.0	366	31.7	683	67.8	51,547	92.6	6	2,173
6月	803	69.2	942	36.9	478	22.6	709	13.1	77,954	56.0	4	305
7月	734	23.7	1,035	33.8	482	25.5	753	6.1	—	—	10	705

資料出所 四日市税関支署(四日市港、津港の合計) 三重県自動車販売協会 三重県軽自動車協会 国土交通省 機東京商工リサーチ

	常用雇用指数 *5				有効				新規求人 倍率	名目賃金指数 *5 (現金給与総額)		
	調査産業計		製造業		求人倍率		求職者数			*1*2 (倍)	前年比	
	(2015年=100)	前年比	(2015年=100)	前年比	*1*2 (倍)	*6 (人)	前年比	*6 (人)				前年比
2018年	101.7	1.0	103.2	3.5	1.71	39,170	5.4	22,953	△ 1.4	2.43	99.6	△ 0.5
2019年	101.8	0.1	104.0	0.8	1.66	37,800	△ 3.5	22,807	△ 0.6	2.40	100.2	0.6
2020年	102.6	0.8	104.6	0.6	1.16	28,953	△ 23.4	24,984	9.5	1.87	99.2	△ 1.0
19年10月	101.7	△ 0.1	103.5	0.4	1.59	37,069	△ 7.0	23,240	0.1	2.32	85.4	1.2
11月	102.0	0.2	103.9	0.6	1.56	37,002	△ 7.5	22,616	2.3	2.21	89.8	3.3
12月	102.3	1.2	103.8	2.0	1.51	35,976	△ 7.1	21,558	5.0	2.13	177.2	△ 2.7
20年1月	102.5	1.1	104.9	2.9	1.44	34,452	△ 12.5	22,130	6.7	1.99	86.1	1.8
2月	102.8	1.6	105.0	2.5	1.38	34,108	△ 14.9	23,022	5.6	2.05	84.3	1.2
3月	101.5	0.5	103.8	1.5	1.33	33,145	△ 17.9	24,058	4.4	2.05	86.9	3.0
4月	102.7	0.2	106.3	0.9	1.26	29,153	△ 24.2	24,425	1.3	1.80	84.9	△ 1.7
5月	101.7	△ 0.6	105.7	0.4	1.16	25,575	△ 31.6	24,190	△ 0.4	1.86	83.9	△ 2.2
6月	102.6	0.7	104.8	△ 0.1	1.12	25,869	△ 31.4	25,259	5.9	1.60	131.1	0.6
7月	102.6	0.6	104.0	△ 1.0	1.06	26,100	△ 30.4	25,718	10.7	1.64	119.9	△ 2.7
8月	103.1	1.5	105.0	0.3	1.02	26,177	△ 27.9	26,253	16.5	1.77	85.3	△ 3.2
9月	102.9	1.0	104.3	0.1	1.03	27,116	△ 25.4	26,856	18.6	1.86	83.0	△ 0.7
10月	102.6	0.9	103.2	△ 0.3	1.03	28,108	△ 24.2	27,321	17.6	1.84	85.1	△ 0.4
11月	102.7	0.7	103.6	△ 0.3	1.05	29,107	△ 21.3	26,083	15.3	1.95	92.5	3.0
12月	103.5	1.2	104.2	0.4	1.06	28,522	△ 20.7	24,498	13.6	1.97	167.7	△ 5.4
21年1月	102.9	0.4	100.8	△ 3.9	1.10	28,721	△ 16.6	24,254	9.6	1.90	85.2	△ 1.0
2月	102.9	0.1	102.0	△ 2.9	1.10	29,300	△ 14.1	24,861	8.0	1.84	84.1	△ 0.2
3月	102.7	1.2	101.6	△ 2.1	1.13	30,740	△ 7.3	26,396	9.7	2.04	88.0	1.3
4月	103.6	0.9	102.9	△ 3.2	1.11	28,975	△ 0.6	27,566	12.9	1.77	86.2	1.5
5月	103.9	2.2	102.8	△ 2.7	1.17	28,855	12.8	26,900	11.2	2.27	85.3	1.7
6月	—	—	—	—	1.21	28,837	11.5	26,068	3.2	2.08	—	—
7月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料出所 三重県戦略企画部統計課 三重労働局職業安定課

*1:月別の数値は季節調整済値 *2:年数値については原指数、前年比 *3:2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。
 *4:負債額1千万円以上 *5:事業所規模5人以上 *6:年数値は年間の月平均 *7:既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所
 *8:前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している
 *9:「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。
 *10:官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円)	前年比 (既存店)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2015年=100)	前年比 *11	(2015年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2018年	100.1	△ 5.2	102.5	△ 1.7	259,669	0.1	53,322	△ 0.1	32,501	1.5	307,460	△ 6.4
2019年	98.4	△ 1.7	99.9	△ 2.5	259,401	△ 2.2	51,181	△ 4.0	32,393	△ 0.3	350,081	13.9
2020年	85.0	△ 13.6	74.4	△ 25.5	303,980	2.3	44,665	△ 12.7	29,265	△ 9.7	306,464	△ 12.5
19年10月	100.0	△ 3.2	92.1	△ 14.6	20,627	△ 5.6	2,993	△ 29.7	1,908	△ 26.6	286,918	△ 4.9
11月	98.4	△ 4.7	92.1	△ 15.0	21,629	△ 0.3	3,519	△ 22.0	2,378	△ 2.2	409,893	30.6
12月	96.7	△ 7.1	91.0	△ 17.8	25,949	△ 2.1	3,298	△ 16.8	1,862	△ 13.5	346,729	1.9
20年1月	91.0	△ 4.3	85.4	△ 14.6	22,472	△ 0.1	3,479	△ 15.8	2,412	△ 16.6	413,270	26.9
2月	97.5	△ 4.9	92.7	△ 17.1	20,779	5.5	4,178	△ 20.2	2,896	△ 9.7	386,394	11.3
3月	94.3	△ 8.0	96.1	△ 13.2	24,935	0.9	5,634	△ 15.5	3,647	△ 2.2	305,301	△ 21.8
4月	82.0	△ 21.2	74.2	△ 30.8	24,087	△ 1.3	2,638	△ 25.6	1,787	△ 31.6	308,520	△ 5.8
5月	67.2	△ 28.1	53.4	△ 46.9	25,957	3.0	2,144	△ 43.8	1,117	△ 55.6	253,933	△ 24.9
6月	72.1	△ 27.3	53.4	△ 47.7	26,094	5.7	3,400	△ 20.7	2,146	△ 18.0	277,721	△ 15.3
7月	76.2	△ 21.8	59.0	△ 40.6	25,787	3.4	3,704	△ 17.2	2,558	△ 7.8	283,692	△ 6.6
8月	77.0	△ 16.8	59.6	△ 35.7	27,367	3.8	2,872	△ 21.6	2,198	△ 12.8	265,545	△ 29.6
9月	83.6	△ 15.7	69.1	△ 30.1	24,962	△ 6.3	4,414	△ 20.4	3,049	△ 9.7	315,546	△ 24.9
10月	88.5	△ 11.5	78.1	△ 15.2	25,363	6.1	4,162	39.1	2,606	36.6	339,490	18.3
11月	95.9	△ 2.5	84.3	△ 8.5	25,708	3.9	4,199	19.3	2,509	5.5	256,531	△ 37.4
12月	94.3	△ 2.5	87.1	△ 4.3	30,469	3.6	3,841	16.5	2,340	25.7	271,620	△ 21.7
21年1月	84.4	△ 7.3	81.5	△ 4.6	26,542	2.2	4,044	16.2	2,650	9.9	254,835	△ 38.3
2月	90.2	△ 7.5	92.7	0.0	23,804	△ 1.0	4,598	10.1	3,136	8.3	326,087	△ 15.6
3月	94.3	0.0	92.7	△ 3.5	24,498	△ 1.3	6,278	11.4	3,993	9.5	507,603	66.3
4月	93.4	13.9	87.6	18.1	24,378	2.3	3,383	28.2	2,456	37.4	326,312	5.8
5月	85.2	26.8	80.3	50.4	25,579	△ 0.5	3,104	44.8	2,104	88.4	289,358	14.0
6月	—	—	—	—	25,403	△ 1.6	3,768	10.8	2,183	1.7	383,244	38.0
7月	—	—	—	—	—	—	3,858	4.2	2,227	△ 12.9	—	—
資料出所	三重県戦略企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及びエネルギーを除く総合)	
	前年比	*10	前年比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比	
2018年	10,616	2.6	2,196	8.4	99.7	0.9	99.5	0.4
2019年	10,162	△ 4.3	1,776	△ 19.1	100.2	0.4	99.9	0.4
2020年	9,558	△ 5.9	1,777	0.1	100.0	△ 0.2	100.0	0.1
19年10月	807	△ 3.4	189	11.8	100.5	0.0	100.2	0.3
11月	936	11.2	92	3.0	100.8	0.3	100.5	0.6
12月	900	△ 10.3	82	△ 33.7	100.6	0.5	100.3	0.6
20年1月	711	16.2	81	△ 12.4	100.4	0.6	100.0	0.4
2月	904	39.7	58	△ 55.9	100.2	0.4	99.9	0.3
3月	824	△ 7.6	173	64.2	100.4	0.2	100.2	0.3
4月	693	△ 16.8	188	△ 33.7	100.3	0.0	100.3	0.4
5月	669	△ 30.2	126	46.7	100.0	△ 0.3	100.1	0.4
6月	718	△ 26.6	194	32.1	99.9	0.2	100.0	0.7
7月	839	2.4	215	△ 8.1	100.1	0.2	100.2	0.6
8月	618	△ 17.3	160	15.4	99.9	△ 0.4	99.9	△ 0.2
9月	818	△ 20.7	228	7.3	99.7	△ 0.1	99.7	0.1
10月	1,210	49.9	161	△ 14.7	99.6	△ 0.7	99.8	△ 0.3
11月	756	△ 19.2	103	12.2	99.7	△ 1.0	100.0	△ 0.4
12月	798	△ 11.3	65	△ 20.9	99.7	△ 1.0	100.0	△ 0.3
21年1月	815	14.6	55	△ 32.3	100.2	△ 0.3	100.6	0.6
2月	757	△ 16.3	100	71.4	100.1	△ 0.2	100.4	0.5
3月	817	△ 0.8	183	5.6	100.4	0.0	100.5	0.3
4月	923	33.2	224	19.3	99.6	△ 0.7	99.5	△ 0.8
5月	743	11.1	158	26.1	99.9	△ 0.1	99.7	△ 0.4
6月	838	16.7	202	4.1	99.9	0.0	99.6	△ 0.3
7月	—	—	231	7.4	100.1	0.0	99.7	△ 0.5
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証機構		総務省統計局			